

食べ物に旬や食べ頃があるように、洋服にだって旬や食べ頃*があると思う。洋服は決して買った時がベストの状態ではない。何度もガンガンに着て洗って、自分の体にやっと馴染んでいくものなのだ。そう、まさにシュリンク&フィット。Tシャツなら襟が緩んで、少々のシミが付いているくらいが個人的には食べ頃。シャツも同様に徹底的に着倒すことで、シャツの方から自分の体に寄り添ってきてくれる。これはファストファッションの1990円のシャツでもイタリー製の25000円のシャツでも同じこと。

*流行りとは違う意味合いで、洋服が身体に馴染んだ時と考えて欲しい

また既製品(≠オートクチュール)のサイズというのは肩幅、身頃、袖丈などは同じ表記サイズでもメーカーにより異なる。サイズ表記はあまり意味がないと考えた方がいい。ドレスシャツが分かりやすいので一例として挙げてみると、私は襟周りのサイズが39である。しかし同じ39でも袖丈はS社とU社で2.5cmも程度違うなんてことは普通で、まして肩幅、身頃、アームホールの感じなども含めるとS社で41がベストだったのが、U社では39がベストなん ていうことは日常茶飯事。これにインポート、さらに昔、よく流行ったショップ別注モノまで加えると既製品のサイズ表記はカオスであり、複雑極まりないものになる。だから徹底的に着倒すことで自分のサイズ感に合わさねばならぬ←実際、現場で働いて様々なシャツを売って、また自分でも様々なシャツを着倒してきた個人的実体験。

では既製品を買う際にどのようなサイズ基準で買えばいいのだろうか。古着はすでに着倒されているから、食べ頃についてはあまり深く考えなくていいが、新品はこれからの洗濯の過程で縮み色あせる*。さらに自分の体で熟成させていくのだから、数年後にどうなっているかを想像して買った方がいい。ドレスシャツに関しては、どんな既製品であっても試着は絶対に必須。ドレスシャツはボタンを外してもらったりと試着に手間もかかる。ましてインポートだと箱や袋に包んである場合が多い。だからといって怯んではいけない。店員を呼んで必ず試着をする。そして試着室の位置から確認するだけでなく、多少(2~3m)離れた位置からも確認する。また自分の規定サイズの一つ上下も時間に余裕があれば確認しておきたい。

*販売員をしていた時によく訊かれた質問に「この洋服は洗ったら縮みますか?」というのがあった。どんな洋服も(素材がコットンでも麻でも化繊混であろうと)、洗剤等の影響を受けて、皆さん方の想像以上に縮むものなのだ。「この洋服は縮まないです」と堂々という店員は勉強不足か、ゴリ押しが強いのか、店の意向か、いずれにせよそのような嘘八百をいう店で買うのは危険行為そのものなので止めた方がいい。

私はこの春夏、洋服を一枚も買わず、手元にある洋服を育てることに注力した。たしかに新しい洋服を買うことはもちろん楽しい行為である。しかし育成選手から数年間、大事に育て上げて、ようやく一軍に上がった洋服を着ることも、私にとってこの上ない楽しみであり小確幸なのだ。